

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)
事業期間を通じた評価

国立大学法人千葉大学 学長 殿

国立大学改革強化推進補助金に関する検討会

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の事業期間を通じた評価について、検討会における審査の結果を踏まえ、下記のとおり評価結果をお示しします。
あわせて、本検討会の所見についても別紙のとおりお示しします。

記

| | |
|---|--|
| A | 当初の構想どおりの取組が行われ成果が得られていることから、本事業の目的を達成できたと評価できる。 |
|---|--|

国立大学改革強化推進補助金(国立大学経営改革促進事業)の
事業期間を通じた評価

国立大学法人 千葉大学

(検討会の所見)

- 目標を下回る KPI があるものの、当初の構想通りの経営改革が進んでおり、目的は達成されるものと思われる。ここで作り上げた経営基盤を強化しながら、千葉大学の特徴を更に磨き上げるような経営に期待している。
- 学長交代を経ても経営方針は堅持されており、大学の強化に向けた改革が進められていると高く評価する。長期的な視点をもとに、学部、学科、専攻の再編にまで踏み込んでもらいたい。
- 経営改革の司令塔を設置して、知・人材・資金のサイクルを構築し、研究力・教育力の持続的な向上を目指した計画を、学長の交代に際して、理念をさらに整理し、持続性が保たれるように強化し、着実に成果を上げつつある。KPI に関しては、コロナ禍で在外研究者の派遣は困難・不可能であり、達成できなものは致し方ないが、コロナ禍を契機に様々な場面で経験したオンラインやサイバー空間での新たな「在外研究」も考えられるのではないだろうか。
- 研究・教育の両面での経営改革の体制づくりは着実に進展している段階にあると評価できる。KPI には目標未達のもの少なくなく、確かにコロナ禍の影響はあるものの、この先、コロナ前の状態に完全に戻るとも考えにくく、前向きな打開策を見出していく必要がある。第4期中期目標期間において、改革の成果が実を結ぶことが期待される。
- 経営戦略基幹の設置など、戦略的経営改革体制の強化は進捗している。研究力強化の取り組みは、特に若手研究者への支援など一定程度は進んでいる。一方、教育力強化の取り組みはコロナ禍の影響もあり一部 KPI が達成されておらず、構想されているプログラム開発の拡充に向けた取り組みが期待される。
- プロジェクトが始まってから学長の交代があったが、引継ぎがしっかりなされており順調にプロジェクトが走っている。経営改革構想全体の施策は整いつつあるが、成果に結びつくためのスピード不足は否めない。地力のある千葉大学ならではの経営改革に大いに期待する。

次項あり

- 学長交代後のトランジションは通常難しいものだが、かなり順調に進んでいるという印象を持つ。もともとは産学連携本部やその機能の抜本的変革がこの構想の目的であったと記憶しているが、それ以外の活動での高度化としてはどのようなものが次の柱になるのか、今後の展開に注目したい。高等教育センターは、これまでいくつかの大学に作られている従来の教育学の延長の拠点に止まるのか、よりイノベティブなアプローチを導入しようとしているのか、今後にかかっている。